令和5年度　学校関係者評価書

学校名	和歌山市立伏虎義務教育学校
作成日	令和6年3月2日

1　教育目標

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成

2　学校自己評価についてのご意見

	進んで学び、しっかり考える子供	心豊かで、思いやりのある 優しい子供	健やかに、たくましく生きる 元気な子供	地域とともにある学校
指標	**学校評価アンケート** ・毎日の勉強がわかる。（前期） ・授業は楽しく分かりやすい。（後期） **全国学力学習状況調査** ・話し合いを通じて考えを深め広げる。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。	**学校評価アンケート** ・学校が楽しい。 ・私は友達となかよくしている。 ・私はそうじを一生懸命している。 ・誰にでもあいさつができる。（前期） ・気持ち良い挨拶をしている。（後期）	**学校評価アンケート** ・自分の将来の進路や生き方について考えることができている。（後期） ・将来の進路や職業について適切に指導している。（後期保護者） ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。（保護者）	**学校評価アンケート** ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。（保護者）
重点目標に対する意見	・積極的に重点目標の実現に向けて取り組んでいる様子が伺える。引き続き、積極的に取り組んでいってほしい。 ・「毎日の勉強が分かる」の肯定的回答がよい数字で驚いた。 ・先生方は、地域の環境や産業の特色を熟知され、「わかやま創造科」が有意義な授業になるよう工夫している。	・掃除は生活で大事なことである。 ・子供は「ほめる」ことにより成長していくので、大切だと思います。 ・朝、明るく大きな声で挨拶をすれば、1日の始まりのよいスタートに繋がり大切である。	・目標を持つことや夢を持つことで少しでも近づければと思う。 ・職場体験、学年に応じていろいろな経験や体験活動ができることはよい。 ・将来の職業について考えることは、子供が成長するにつれ、何か役に立てられるのではないか。	・学校の様子を引き続き、地域に発信してほしい。 ・コロナ禍で、今まで地域連携が難しい場面もあったが、地域と共にある学校づくりは大切であり、一層の取組を進めていってほしい。
取組状況に対する意見	・全体的にとても良いと思う。 ・全国学調や県到達度調査の結果を見る限り、取組が成果に表れていると考えられる。 ・全国学調の結果が全体的に良好でよい。 ・学校評価アンケートによると、「学校が楽しい」「勉強がわかる」等、良い結果が多いのは、先生方の子どもへの接し方、教え方に色々な工夫がされているからだと思う。また、このような工夫が、全国学力学習状況調査の結果に表れたのだと思う。	・全体的に良いと思う。 ・「学校は楽しい」「私は友達と仲良くしている」がすべての学年で9割をこえているのはすごいことだと思います。 ・アンケートのどの項目を見ても、児童生徒と先生方とのコミュニケーションの深さが伺える。 ・和歌山大空襲から78年。追悼法要への出席を続けてほしい。「平和について考える」学習を継続してほしい。	・「将来の進路や生き方」について、アンケートでは「適切な指導をしている」と感じている保護者は5割弱に対して、「考えている（考える機会があった）」と答えた生徒は8割をこえている。回答の差は大きいが、多少は仕方ないと感じる。保護者にも分かるような取組の継続と充実を期待する。 ・いろいろな体験を通し、将来の選択肢の幅を広げ、子供たち自身が伸び伸びと生活しているように感じる。	・学習発表会や学校開放週間があることはよいと思う。 ・教育活動だけでなく、インフルエンザ等による学級閉鎖の状況なども伝えてほしい。 ・伏虎通信で子供たちの活動が感じられうれしく思います。 ・忙しい中、ホームページや伏虎通信で学校の様子を分かるように発信しており、毎回楽しみにしています。
取組の適切さの検証結果に対する意見	・「毎日の勉強が分かる」の肯定的回答が私の思っていたより良い数字だったが、わからないと答えた児童生徒にも焦点を当て、原因を探ってほしい。 ・全国学力学習状況調査で、良好な結果がでているので、学力面の学校の取組は適切と考える。	・見守りのときなど、大きな声で挨拶ができる児童もいる。挨拶のできる元気な子どもを見ていると、こちらも元気がもらえる。 ・朝の挨拶運動（児童生徒会）の効果が出ているように思う。 ・児童生徒の多くが、「学校が楽しい」と回答している。何をおいてもこのことが一番大切。 ・掃除に関しては、よく頑張っていると思う。今後も引き続き、清掃活動や整理整頓に頑張り、きれいな学校を維持してほしい。	・先生は、子供たちとの距離感が縮まるよう、コミュニケーションを大切にしていってほしいと思います。また、将来の進学などについて、先生と親がよく相談できるように2者の距離を縮めるよう心掛けください。 ・小中一貫教育の中、児童が前期から後期へとスムーズに進級していると感じる反面、後期生になるという緊張感が薄れていないか心配。	・学習発表会の時、1年生と9年生が運動場で一緒に給食を食べたときの様子や各教科の学びの成果を多目的室や廊下に掲示しており、子供たちの頑張っている姿が感じられた。 ・保護者アンケートの結果で、肯定的な意見の中でも、「そう思う」を増やしていってほしい。 ・図書館ボランティアの方々のおかげで子供たちが楽しく本に接している姿が目に浮かびます。 ・伏虎通信では、児童生徒のスポーツでの頑張りや地域の事業所の見学等、楽しみに読んでます。
次年度に向けての改善方法に対する意見	・子供同士、子供と先生、子供と親、親と先生の関係や距離感が大事だと思う。コミュニケーションを大切に取組をより充実させていってほしい。 ・アンケート結果は、概ね良好な結果であるが、「あまりそう思わない」「思わない」の意見が、少数あることにも目を向けて取り組んでほしい。	・学校での挨拶、登下校時の挨拶ができる子を育ててほしい。 ・スマイル活動（挨拶運動）は続けていただきたい。 ・清掃活動にしっかりと力を入れてほしい。 ・今後も、子供たちが「学校が楽しい」と思える状況を継続していってほしい。 ・命の重みや平和の尊さを訴え続け、後世に継承していってほしい（和歌山大空襲から学ぶ）。	・今より早い段階から高校受験等も含めた進路指導（キャリア教育）に取り組んでいってほしい。 ・職場体験は、リアルな社会生活がわかり、生きていくのに必要なことが学べるうえ、親への感謝の気持ちも育まれると思う。是非、継続していただきたい。 ・保護者アンケートで「学校が将来の進路や職業について適切な指導をしている」について、「わからない」が40．2%もあり、率が高いと思うので改善できるとよいと思う。	・今後も、地域、各連合自治会、民生委員・児童委員協議会、青少年健全育成委員会、子供センター事業などと協力して伏虎を盛り上げて頂きたい。 ・雄湊まつりや三世代交流等、地域の方とコミュニケーションを通し、子どもの健全な育成に役立てて頂きたいと思います。

3　その他のご意見

・地域活動に積極的に協力して下さり感謝している。これからも、地域との連携を大切にしてほしい。
・学校通信が毎月、回覧板で廻ってきて、記事を読んだり、写真を見たりすることを楽しみにしています。学校の様子が分かっていい。
・「給食の時間が楽しみだ」と肯定的な回答をしている児童生徒が多くてよい。育ち盛りの子供たちに「給食は楽しい」と感じさせる調理員、栄養士、先生方に感謝します。
・子供たちの居場所（学校、家庭）や食（給食も）の充実が満たされると、自ずと学力や心の豊かさに良い影響を及ぼすと思います。
・廊下や階段にホコリが落ちていたり、トイレの片づけができていない場面を見かけたので、掃除や整理整頓の一層の徹底をお願いしたい。
・義務教育学校ならではの活動や取組をこれからも推進していってほしい。